

なるせダムニュース

平成28年11月 第33号

マネジメント委員会を開催

■成瀬ダム建設事業が適切かつ効率的に進められているかについて、学識者や利水者などの第三者から意見をいただくことを目的とした「成瀬ダム建設事業マネジメント委員会」を10月13日に東成瀬村で行いました。

委員会では、ダム型式を変更することに伴うコスト削減が認められることから、この変更を実施するにあたっては、必要な調査等を十分に行うこと、また、今後の本体工事の実施にあたっては安全にも十分留意すること、などの意見が出されました。



▲委員会の様子



▲質疑応答の様子

イヌワシ・クマタカ調査委員会

■成瀬ダム建設予定地周辺における、イヌワシやクマタカ等の猛禽類への工事による影響を把握するための調査や、保全（影響を極力与えないための対策）対応の充実を図ることを目的に、「第25回成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」を10月26日に大仙市で行いました。

本委員会では、平成28年度のイヌワシ（ヒナ1羽）、クマタカ（ヒナ1羽）、ハチクマ（ヒナ2羽）の繁殖が確認されたことや、イヌワシ・クマタカの行動範囲などに大きな変化がなかったことが確認されました。

また、今後の猛禽類保全の対応方針などについて話し合われました。

H28.7.8撮影



▲イヌワシ幼鳥の飛翔

H28.9.3撮影



▲ハチクマの巣と幼鳥



東成瀬村産業祭



～成瀬ダム展～

平成28年10月21日（金）～10月22日（土）

東成瀬村村民体育館の成瀬ダム展コーナーにて、パネルの展示を行いました。



▲ダムパネル展



▲展示の様子



▲動植物等の写真を掲載

～水路トンネルを歩こう～

平成28年10月22日（土）10：30～12：30

東成瀬村産業祭に合わせて、成瀬ダム現場見学会（参加者17名）を行いました。



▲見学会受付



▲展望台



▲水路トンネル前

東成瀬源流シンポジウム



成瀬川源流の魅力と成瀬ダムによる地域活性化を共に考える「東成瀬源流シンポジウム2016」を、平成28年11月3日（水）に東成瀬村地域交流センター「ゆるるん」にて開催しました。



▲佐々木 哲男氏
（東成瀬村村長）



▲高橋 大氏
（横手市長）



▲中村 文明氏
（多摩川源流研究所所長）



▲東成瀬村子ども仙人太鼓



▲明神太鼓（横手市）



▲パネルディスカッション



工事現場だより



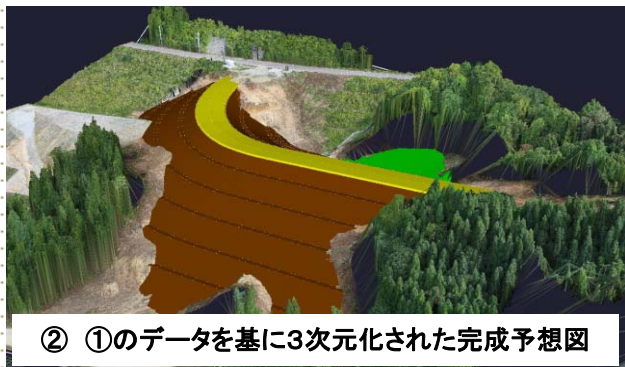
●今号では、「成瀬ダム工事用道路（右岸下流）工事」の現場を紹介します。
ダムサイト右岸の天端（※）に車両を通行させるための工事用道路を造成しています。
10月号で紹介した「成瀬ダム工事用道路（右岸上流）工事」で設置している、擁壁（補強土壁）へ繋げる道路を整備しています。

ICT（情報化施工）を導入して、無人航空機（ドローン）を使っての3次元測量やGPSを使っての、ICT建設機械を自動制御した施工を実施しています。

（※）天端…ダム堤体の一番上部のことです。



① 無人航空機(ドローン)を使っての測量



② ①のデータを基に3次元化された完成予想図



GPSのアンテナ

③ ICTを導入した建設機械(締固め機)



締固め機で作業した箇所が車内にあるモニターにその場で赤く塗られていきます。

④ 盛土の施工状況

締固め機の中にある画面を見ながら重機を動かします。
（塗り絵の様に締固め箇所が赤く塗られます。）



⑤ 車内モニターの様子

現場代理人より、ひと言。

「成瀬ダム工事用道路（右岸下流）工事」
施工会社：(株)高修興業

現場代理人
古内 悟



ご紹介に預かりました通り、ICT活用工事として、情報技術の向上と品質の確保は基より、安全面においても、『最高の品質管理』を心掛け、成瀬ダム工事の一環として、完成に向けて取り組んでいきたいと思っております。

発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-4026(代表)

FAX 0183-73-4028

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

